2023年《第1・2・3・4回》
フルーク温度校正
セミナー

FLUKE®
Calibration



Seminar
対面開催

第1回

2023年 4月 7日(金) 東 京
2023年 4月12日(水) 名古屋
2023年 4月14日(金) 大 阪

●13:00～17:00

参加申込はこちら
PDFの場合はクリック

温度の測定について

温度計には接触式の温度計と、放射温度計のような非接触の温度計とがあります。
接触式の温度計である白金抵抗温度計、サーミスタ、熱電対が温度を測る仕組みについて説明します。
そして、それらの温度計と接続して測定した温度を表示する“温度指示計器”について、その測定回路を含めて説明します。
さらにフルークの最高精度の温度指示計であるスーパーサーモメーターの仕組みについて、
どのような方法で高い精度の測定を実現しているかを紹介します。

第2回

2023年 6月 7日(水) 東 京
2023年 6月 9日(金) 名古屋
2023年 6月14日(水) 大 阪

●13:00～17:00

参加申込はこちら
PDFの場合はクリック

温度計の校正(1)
～温度計の比較校正と校正の自動化について～

正しい温度の測定のためには、温度計の定期的な校正が必要となります。温度計の校正には
定点を用いた定点校正と、温度バスやドライウェルといった安定的な熱源を用いた比較校正の2つの校正法があります。
現場や校正室で行われている比較校正について、バスやドライウェルの仕組みと校正の注意点などを含めて説明します。
そして温度校正の自動化についても、目的に応じたいくつかの方法を紹介します。

第3・4回は次ページをご確認ください▶

Seminar
対面開催

2023年 フルーク温度校正器 セミナー/ウェビナー

FLUKE Calibration

第3回

2023年 7月14日(金) 東 京
2023年 7月19日(水) 名古屋
2023年 7月21日(金) 大 阪

●13:00～17:00

参加申込はこちら
PDFの場合はクリック

温度計の校正(2) ～温度計の定点校正とITS-90について～

最も精度の高い温度計であるSPRT(標準白金抵抗温度計)は、定点を用いて校正されます。
この定点校正はITS-90(1990年国際温度目盛)に基づいた校正方法となります。
定点やSPRTの構造と温度計としての特徴について説明します。そして、定点校正によりITS-90の校正係数をどのように求めるのか、計算方法を含め温度目盛の意味について詳しく説明します。

第4回

2023年 9月 1日(金) 東 京
2023年 9月 6日(水) 名古屋
2023年 9月 8日(金) 大 阪

●13:00～17:00

参加申込はこちら
PDFの場合はクリック

温度計の校正の不確かさについて

計測器の校正を行うとき、国家標準へのトレーサビリティに加え、不確かさを評価することも、校正にとってたいへん重要なことになります。温度計の校正では、熱源の不確かさや温度指示計器の不確かさも考慮する必要があり、多くの不確かさ要因を評価することになります。
4回目のセミナーでは、指示計の感度係数の計算を含め、バスやドライウェルによる比較校正の不確かさについて実例を用いて紹介します。

・感染症対策については、政府の方針に従って実施を予定しております。
・ご受講の方には当日、受講証明書をお渡しします。
・30分前より開場します。それより前にご来場いただいてもご入場できません。
・日時/会場をお確かめの上、お間違いのないようご来場ください。

■東京会場
株式会社テクトロニクス&フルーク
フルーク社 セミナールーム 607
〒108-6106 東京都港区港南2-15-2
品川インターシティB棟 6階

■名古屋会場
TKPガーデンシティPREMIUM
名駅西口 3階 リゲル
〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-6-3
ベルヴュオフィス名古屋 3階

■大阪会場
TKP新大阪駅前カンファレンスセンター
カンファレンスルーム 6A・6B
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-4
KDX新大阪ビル 6階

●お問い合わせ フルーク 校正器営業部 E-mail:jp-info@flukecal.com TEL:03-6714-3114